

公民館報
新習志野

公民館報 / 新習志野
編 集 / 館報編集委員会
発 行 / 新習志野公民館
指定管理者 株式会社オーエンス
習志野市秋津 3-6-3 TEL453-3400
<http://sinnara-kominkan.net/>

第 29 回新習ふれ愛まつり



世代を超えて
集いふれ合おう

3月8日(土) 10:00~13:00

- [場 所] 新習志野公民館
前広場 / 1階学習室 / 1階ロビー / 2階多目的室
- [催 物] 学習発表 / ワークショップ / バザー / 模擬店
抽選会など
- [主 催] 新習ふれ愛ネット / 新習志野公民館
- [問合せ] 新習志野公民館 TEL 047-453-3400

※内容は変更される場合もあります。詳しくは新習志野公民館にお問い合わせください。
※駐車場が混み合い駐車できない場合がありますので、車でのご来館はお控えください。

2024年 新習文化祭



🍁🍂 引き継がれるもの

和やかで華やかな雰囲気にもまれた新習文化祭が10月25日(金)~27日(日)に開催されました。今回は、サークル連協の新旧役員が連携するという新たな取り組みにより運営されました。誰もが無理なく一体となって創り上げる秋のイベントとして継承されることを望みます。

今回も公民館スタッフの皆様の懇親的なサポートをいただきました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

文化祭実行委員 フォトサークル・ライト 窪田 正樹



神秘的な巳

寺沢 康夫

2025年。7回目の巳年を迎えました。年男ですが実は私、蛇は好きじゃないのです。でも、なぜか蛇は古代からありがたい神様扱いされている不思議な生き物です。意外と身近なところで親しまれたり敬われていたりしているので驚きます。

例を挙げると、①巳年生まれはお金に困らないという伝え話があります(私は対象外にされています)。また「蛇の抜け殻」を財布に入れておくとお金が貯まるという言い伝えもあります。②神様がいる神聖な場所であることを示す神社やお正月の「しめ縄」。これは蛇を神聖視していた古代の人が蛇をモチーフに生み出したものとか！ また白い蛇は「神様のお使い」だとも言われ縁起物です。③救急車の車体に描かれている、救急救命のシンボルマーク「スター・オブ・ライフ」の6本の柱の中心は蛇が巻きついている杖です。脱皮を繰り返し、遅く再生成長していく蛇の生命力を「命」や「人命救助」を意味するマークに取り入れたのだと聞いています。蛇が十二支に仲間入りしている謎がなんとなく分かります。巳年のパワーを借り、実りの多い一年にしたいと思っています。



第12回海辺のコンサート

去る 11 月 16 日、第七中学校の体育館を会場に恒例の「海辺のコンサート」を開催しました。このコンサートは、学区の地域の方々に構成する「海辺のコンサート実行委員会」が主催するもので、今年で 12 回目を迎えました。

今年から入場制限なしで開催したところ、演奏者を含め 810 名の方々が集い、それぞれの団体が奏でる音の響きを堪能していました。しばらく中止していた合同演奏も復活しました。曲目は、市制施行 70 周年にちなんで「ドレミファナラシド」です。小学生から中高生、一般団体の演奏者が一堂に会しての演奏は、圧巻でした。参加された方からは、「迫力があり元気になった」「心が安らぐ楽しい一日だった」「私も吹奏楽部に入りたくなった」などの感想をいただきました。まさに、地域に支えられた地域のための音楽会でした。

生涯学習相談員 平山 宣尚

私の
お気に入りの健康法

渡會 安次

3年前の第49回寿まつりで、シニア向けに創作された「ダレデモダンス」を踊ることになりました。当時、メンバーは70代後半、全員が未経験でしたが、約一年間練習して、市民ホールの舞台上立つことが出来ました。我々シニアでも、ヒップホップ系ダンスを踊れると、大いに自信となりました。そして、踊ることがこんなにも楽しくワクワクすることだと知り、すっかりダンスの魅力にはまってしまいました。



とにかく、踊った後は気分がスッキリ、有酸素運動で、良い汗がかけて免疫力アップ！ 仲間とコミュニケーションを取りながら、音楽に合わせて身体を動かす、踊りの順番を覚えるなど、楽しみながら踊っているだけで、筋力や体幹を鍛え、最強の脳トレになること！ 何となく気分が上らない時でも、K-POP系のお気に入りの曲に合わせ3曲も踊れば、じんわり汗がかけ体調も良好です！ これからも続けたい、お気に入りの健康法です。



子ども講座「マジックに挑戦！」

11/30、12/7、12/14 に開催した子ども講座「マジックに挑戦！」保護者の方々に披露するために練習がんばりました。

「先生のマジックを参考に挑戦するマジックを決める」



「一生懸命に練習したマジックをみんなの前で披露」



「お疲れ様でした♥♠」

編集委員が行く



スダジイという木のどんぐりが食べられると聞き香澄公園を散歩しながら探してみた。普段は何気なく通りすぎる木々だが、じっくり見るとどんぐりだけでも多くの種類がある。スダジイはチューリップハットのようなかさ（殻斗）を持っていて、小さめの三角錐型が特徴だ。そのまま殻を歯で割って食べてみる。白い実は、よく噛むとほんのり栗のような甘さを感じた。これなら十分に「食材」と言える。

似たような形でも種類が違うどんぐりは渋みやえぐみが強く、食べられたものではなかった。食べられるものを見分けるのは難しいが、公園を歩きながら探すのは宝探しのようにわくわくする時間だ。

公民館に持ち帰り、乾煎りして食べようと思ったら、ちょうど講座を終えた小学生が集まってきた。「本当に食べられるの？」と興味津々。口に入れた瞬間「甘い！」と笑顔を見せた。リスやクマもこんな気持ちでおいしい木の実を探して食べているのだろうか。少しだけ彼らに近づいた気持ちで、自然の恵みを味わった。



編集委員の
つ・ぶ・や・き

子育ても一段落し、同年代の女性同士が集まると、もっぱら話題は親の介護や自身の老化について。白髪や老眼、更年期や関節の痛みなど、まだまだ遠い先の話と思っていたことが現実になってきた。

しかし、悲観するばかりではない。機能は衰えても若い頃より感性は育っているように感じる。四季の変化を観賞したり、鳥の囀りに耳を傾けたり、また、和食の優しいまみを味わうなど、心豊かに日々を楽しみたいと思っている。 ET

この館報は公民館にも置いてあります。
また、ホームページでもご覧いただけます。

